

新たな価値を生み出す思考力を育む — 「課題研究STEAM」を支え、 教科の学びをつなぐ「協同的探究学習」—

主催 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

ご案内

清秋の候、先生方におかれましてはますます御発展のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校をご支援してくださっている方々に、心より感謝申し上げます。

本校では、2021年度にWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業に採択され、教育実践の開発に取り組んでまいりました。2023年11月18日（土）に、第3年次の研究成果発表会を開催いたします。本校を長年にわたり指導してくださっている東京大学教授の藤村宣之先生のご講演と、授業公開と授業検討会を実施します。多くの方々のご来校を心よりお待ちしております。本校の教育実践に対して、皆様より忌憚のないご意見をお寄せくださいますよう、お願いいたします。

名古屋大学教育学部附属中・高等学校
校長 柴田好章

STEAMとは

Science、Technology、Engineering、Art、Mathematicsの頭文字をとった言葉で、文理を越えた科学的思考力を育成することを目指す課題研究の教科です。本校では、高校2年生と高校3年生の2年間で、興味に基づいた領域から個人テーマに取り組みます。

協同的探究学習とは

児童・生徒が自分なりの方法で教科の内容を深く理解することと、思考のプロセスを表現することを促す、小・中・高の各教科や課題研究で実践できる学習法です。また、仲間と話し合うことで、児童・生徒が主体的に授業に関わろうとし、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。

期日：2023年11月18日（土）9：15～16：30（8:45より受付を行います。）

会場：名古屋大学教育学部附属中・高等学校（名古屋大学東山キャンパス西地区）

形態：対面

対象者：小学校・中学校・高等学校・大学の教員（非常勤講師を含む）、教育委員会関係者、
教員志望・研究者志望の大学生および大学院生

申し込み方法：11月13日（月）までに、本校ホームページの申し込みフォーム、
または以下のQRコードを読み取りお申し込みください。

会費：無料、昼食は各自ご持参ください。



日程：

全体会 9：15～10：20

1 WWL概要について、協同的探究学習について 9：15～9：50

2 東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生 講演Ⅰ

「協同的探究学習を通じたこれからの時代の思考力の育成」 9：55～10：25

第1部 10：40～12：35

1 公開授業 10：40～11：30

教科・科目		学年
英語科		中学1年生
理科		中学1年生
国語科		中学2年生
数学科		中学2年生
本校設定教科・科目 (総合的な学習の時間、 総合的な探究の時間)	Pre-STEAMⅠ	中学3年生
	データサイエンス	高校1年生
	アカデミックライティング	高校1年生

2 授業検討会 11：45～12：35

第2部 13：30～15：40

1 公開授業 STEAM 13：30～15：00

高校2年生 研究報告・検討会 13：30～14：20

高校3年生 成果発表会 14：30～15：00

「STEAM」は、高校2年生と3年生の合計240人を16人の教員が担当しています。公開授業では、高校2年生が2年間の研究の中間地点で、異なる領域の生徒に小グループで研究成果を報告し、検討を行います。その後、高校3年生の成果発表会を実施します。

2 授業検討会 15：10～15：40

第3部 15：50～16：30

東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生 講演Ⅱ

「本日の公開授業にみられる学びの深まり」 15：50～16：30

全体会 (閉会)

公開授業（本校設定教科・科目）について

Pre-STEAM I について

中学校での「Pre-STEAM」は、高等学校での「STEAM」教育の基盤となります。多様な領域で実施する「探究的学習」（Pre-STEAM I）と、実験・観察を中心とした「課題研究」（Pre-STEAM II）は「総合的な学習の時間」で行われます。

中学3年生の「Pre-STEAM I」では、「国際理解と平和」をテーマに採り上げ、「なぜ戦争は起こるのか」「なぜ戦争は続くのか」といった背景の理解やマクロ視点、さらに「戦争により人々（特に子ども）の生活がどう変わるのか」というミクロ視点から、国際理解を進め、平和を維持する方法を、個別探究および協同探究を通じて学ぶ取り組みをしています。

公開授業では、広島の研究旅行における研究成果の発表・検討会を実施します。今後の研究に向けて、各生徒が考察を深めます。

データサイエンスについて

取り扱うデータに対して適切な統計分析を選択し、その結果を客観的に解釈し、説明することを身につけます。自分たちが行った実験や実測データの分析に基づき、因果関係を明確にし、根拠を示す考察力を育成することを目指します。

公開授業では、ジュースなどに含まれているビタミンCの含量を自分たちで測定するための実験計画を立てます。

アカデミックライティングについて

課題研究の基本を高校1年次に学習します。テーマの決定や先行研究を調べることは、その後の研究に大きな影響を与えます。

公開授業では、本校教員と司書教諭が連携して課題研究を始める基本を扱います。

講師の紹介

東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生

<講演概要>

国際比較調査などの結果を分析すると、日本の児童・生徒の「できる学力」（解き方などが一つに定まる定型的な課題を解決する知識・技能）の水準は高いが、「わかる学力」（多様な考えが可能な非定型的な課題に対して思考を構成し、そのプロセスを表現することやそれらを通じた諸事象の深い理解）の水準は相対的に低いことが見えてくる。これからの時代に向けて国際的にも重視されている「わかる学力」や、自己肯定感・他者理解・学習観などの学びに向かう力・人間性を育むには、探究と協同（他者とともに学ぶこと）を通じて子どもたちの「深い学び」を実現する授業が必要である。そのような背景から小・中・高の先生方と各教科や課題研究の授業を通じて開発と実践を進めてきている「協同的探究学習」について、その意義や心理学的背景を含めて実証的研究をもとに解説する（講演 I）。さらに、本日の公開授業を通じてどのように生徒たちの学びが深まり、「わかる学力」や学びに向かう力が高まりをみせているかについて考察する（講演 II）。

<プロフィール>

京都大学大学院教育学研究科において博士（教育学）を取得。名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授などを経て現職。専門は、教育心理学、発達心理学。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員、日本学術会議連携会員などを務めてきている。

<著 書>

- ・『協同的探究学習で育む「わかる学力」—豊かな学びと育ちを支えるために—』
（藤村宣之・橘春菜・名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、ミネルヴァ書房、2018年）
- ・『数学的・科学的リテラシーの心理学—子どもの学力はどう高まるか—』（単著、有斐閣、2012年）
- ・『協同と探究で「学び」が変わる—個別的・ドリルの学習だけでは育たない力—』
（分担執筆、名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、学事出版、2013年）
- ・『発達心理学—周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか— [第2版]』
（編著、ミネルヴァ書房、2019年）
- ・『新しい時代の教育方法 [改訂版]』（共著、有斐閣、2019年） 他多数

お問い合わせ：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学教育学部附属中・高等学校 研究部長 大羽 徹

E-Mail : ohba@highschl.educa.nagoya-u.ac.jp 電話番号 : 052-789-2680 (職員室)